

# 第7回鶴ヶ谷ことぶき大学【閉講式】講座レポート

～閉講式記念講話「よりよく生きる」～

講師： 陸奥国分寺住職 村山 裕俊 氏  
日時： 令和4年1月19日（水）10：00～11：30  
参加受講生： 34名



令和3年度の鶴ヶ谷ことぶき大学は、新型コロナウイルス感染症の影響でハラハラ・ドキドキしながら毎回開催しておりましたが、受講生の皆様の協力のもと、無事閉講式を迎えることができました。今回の閉講式記念講話は陸奥国分寺住職 村山裕俊氏より「よりよく生きる」と題した講話で、これからの人生の道標となるお話でした。



講師が僧侶になった経緯のお話しに受講生の皆さんは感銘を受け、また、これからの人生の生き方、考え方にもうなずいておりました。



令和3年度の鶴ヶ谷ことぶき大学の総まとめと次年度にむけて、千葉館長の挨拶がありました。



令和4年度の世話人会再開にむけて、受講生の萩原さんと山路さんから鶴ヶ谷ことぶき大学への思いと抱負を熱くお話しして頂きました。

## ☆☆ 受講生のアンケートより ☆☆

- ◇ 悲しみ苦しみにあっても一つでも笑顔を楽しむことを持てるかが大切というのは納得のいく話でした。感性と知恵を持つ事、もっともっと若い時にお聞きしたかった講話でした。遅くはないと思い今日から心掛けたいものです。
- ◇ 陸奥国分寺住職様のお話し、ご自身の身の内のご苦勞のあったこと等感動いたしました。今後も体の動けるうちは健康でより一層楽しく過ごしたいと思います。
- ◇ 本当の死とは何か、今一度考えてみる・・・。本日の講座は閉講式にふさわしく、自分のこれからの人生の為になるととても良いお話しでした。
- ◇ 大変心に浸みるお話でした。心当たりのことばかり、「おかげさん」を心に持って生活したいと思います。今日は夫の命日でした。これも何かのエンだと思います。
- ◇ 「自分のハゲミ」の話は身にシミました。「おかげ様」を「感じられる生き方！」そのことの感謝の意味を味わったような気がしました。

